

日商PC（文書作成）（データ活用） ーデジタル時代に身につける「仕事力」ー

ビジネス現場で日常的に使用されているパソコン。それゆえ、今では単に操作方法に習熟しているだけでは十分とはいえなくなっている。紙の資料をパソコンで打ち直したり、電卓でも済むような表計算を行うだけでは、パソコンを使いこなしているとは言い難い。今後、企業社会で活躍していくためには、電子データの特性を理解し、有効に活用する能力が必要であり、このスキルこそ現在求められる仕事力といえる。

例えば、販売店の売上状況そのものは単なるデータの羅列でしかない。しかし、Excelを用いて、経営状況を明らかにする有益な情報に変化する。電子データを活用するということは、すなわち、このような新しい情報を創り出していくことにほかならず、今の企業現場では当然のように求められているビジネススキルである。

日商PC検定試験は、このように、デジタル社会で必要とされる仕事力をカタチにするもので、ネット社会の中でビジネス現場に即応できる仕事力を身につけることを目的にしており、試験の内容についての企業評価も高く、採用や研修における評価ツールとして多く活用されている。日商PC検定試験は、「読み、書き、パソコン」が当然のビジネススキルとされる時代の要請に応えた検定試験となっている。

試験はインターネットを利用して行う。試験会場は全国1800カ所以上あり、また受験したその場で自動採点され合否も分かることから、1日で資格取得でき利便性にも優れている（1級を除く）。試験は「文書作成（Word）」「データ活用（Excel）」の2分野からなり、それぞれ独立して受験できる。学習は公式テキスト&問題集を利用すれば受験に必要なスキルが身につく、最短距離で合格に近づけるだろう。